

※人口は住民基本台帳による数（令和4年10月31日現在）



人口：295,554人 面積：450.70km² ■北区役所 〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

北区 子どもたちが奏でる、地域に引き継がれた音色

●区役所の位置

毎週金曜の午後になると、^{りざん}鯉山小学校の音楽教室から威勢のいい三味線と太鼓の音が聞こえてきます。三味線クラブの練習です。

クラブには同小学校の4年生から6年生まで25人が在籍しています。指導をしているのは地域の人です。平成14年から指導は続いており、子



どもたちと地域住民との交流の場にもなっています。

クラブでは、「三味線餅つき」で演奏する曲を練習しています。吉備津神社の門前町として栄えた宮内地区では、昔から神社の祝い事の際に、祝い餅をついて神前に供える風習がありました。三味線と太鼓のリズムに合わせて餅つきをしたらもっと楽しくなるのではと、芸達者な人々が三味線と太鼓の独特なリズムとメロディを取り入れたことが三味線餅つきの基になったと言われています。

毎年、1月1日から3日にかけて

吉備津神社境内で行われる三味線餅つきでは、クラブの子どもたちが大人たちに交じり、練習の成果を披露します。初詣に行かれた際には、華やかな三味線や太鼓の音色が織りなす、地域に引き継がれた伝統ある音楽をご堪能ください。



●問い合わせ

鯉山小学校

☎086-287-3024



人口：147,174人 面積：51.24km² ■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

中区 橋が彩る中区の風景～百間川の歴史から～

●区役所の位置

百間川は、江戸時代に、旭川の氾濫による水害から岡山城下を守るため、洪水時の旭川を分流させる目的で造られた河川です。

造られた当時は堤防が整備されておらず、河川内で稲作が行われていました。しかし、たびたび大きな水害に見舞われたため、昭和49年から本格的に堤防の大改修が始まりました。洪水が起きると通れなかった百間川を横切る道は、改修により長さ100mを超える大きな橋へと整備されました。

道路に占める橋の割合が、4区の中で中区が最も高い理由は、こうい

った歴史によるものです。今なお、中区の風景をたくさんの橋が彩っています。



▲改修前（北東から操山方向を望む）
※昭和40～50年代ごろ撮影



▲改修後

年の瀬を控え、たまにはのんびりと百間川沿いを散歩してみたいかがでしょうか。



※写真は国土交通省 岡山河川事務所HP「百間川の治水施設群」より引用

●問い合わせ

道路予防保全課

☎086-901-1629

■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



人口：92,834人 面積：160.53km²

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

東区

Instagram「#ええが東区」で東区を盛り上げていきませんか

東区役所では「いつまでも住み続けたいまち東区」をコンセプトに、公式Instagramを運用しています。市民の皆さんと共に作り上げるInstagramを目指し活動中です。

イベント会場や公園などで職員がInstagram紹介カードをお配りしていますので、受け取った際にはぜひ公式Instagramをのぞいてみてくだ



▲Instagram紹介カード

さい。また、職員が撮影する写真への出演をお願いすることもありますので、ご協力をお願いします。

皆さんも東区の風景・暮らしの日常を投稿する際には、ハッシュタグに「#ええが東区」を付けて、一緒に東区を盛り上げていきませんか？集まった投稿の中から一部を公式Instagramで紹介させていただきます。投稿をお待ちしています！

人とのつながりに焦点を当てた写真や動画で、親しみやすく、温かみのあるInstagramにしたいと考えています。Instagramを通じこれからも東区の魅力を発信していきます。



▲活動の様子

●問い合わせ

東区役所総務・地域振興課
☎086-944-5008



人口：167,117人 面積：127.48km²

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5

南区

年末年始を安心して過ごすために

南消防署は、4月に南区浦安南町へ新築移転してからはや8カ月が過ぎました。これからも市民の皆さんの安全・安心のため、火災・救急などの対応に、より一層努めてまいります。どうぞよろしくをお願いします。



さて、今年も残るところ1カ月となりました。朝晩は特に冷え込み、火災や救急件数が増加する季節です。次のことにお気を付けてください。

【石油ストーブ】

石油ストーブによる火災は毎年発生しています。ストーブから離れる時や就寝時は火を消してください。また、火を付けたままの給油や移動は大変危険です。必ず火を消してから行ってください。その他、ストーブの上部に洗濯物を干したり、周囲にスプレー缶などを置くことも危険ですのでやめましょう。

【ヒートショック】

入浴時などの急激な温度差により血圧が大きく変動することで起こる障害で、失神や心筋梗塞、脳卒中の原因になります。特に冬場に浴室で発生することが多く、浴室や脱衣所を暖房などで温かくし、熱すぎるお湯での入浴を避けることで予防できます。



●問い合わせ

南消防署
☎086-262-0119

